

第2回（2018）新・里山講座アルバム

第2回新・里山講座は受講生の15名の皆様と1月7日から4月23日まで全9回連続で実施しました。
講座アルバムを取りまとめました。

<スナップ集>



第1回「開講式」、「受講生・スタッフ自己紹介」、「保全協会が目指す里山とは」を常俊容子氏（ナチュラリスト講座企画運営）の講義



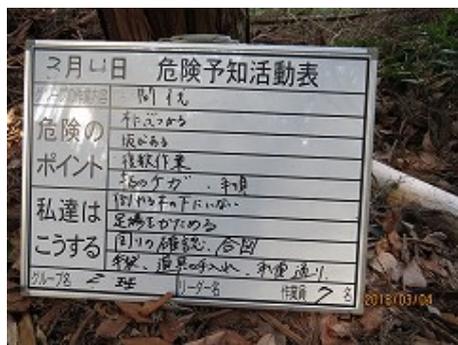
第2回「森林のしくみ」藤原宣夫教授（大阪府大教授、前列左より4人目）、集合写真



第3回「応急手当短期講習」日本赤十字社上田麻紀指導員と講習風景



第4回「人の暮らしと里山」講師の佐久間大輔氏と受講風景



第5回「奥の谷フィールド見学・下草刈り・間伐」を田淵武夫氏（富田林の自然を守る会代表）の講義と実習。実習の前には必ずKYK（危険予知活動）を全員参加のもと現場で行い共有化して作業を始めた。



講座終了後、ご指導いただいた富田林の自然を守る会の皆さんと集合写真



第6回「植生・毎木調査の必要性と方法」を土生陽子氏（木象嵌こばみつ亭代表）（前列右より2人目）の講義



【 毎木調査票② 】

NO	種名	樹高	幹径下高	胸高幹径	冠幅	葉色	備考
1	シラカシ	2.8m	1.0	4.0cm	2.0m	緑	0
2	クヌギ	2.5m	1.0	2.5cm	1.5m	緑	0
3	アサギ	2.0	1.0	1.0cm	1.0m	緑	0
4	クヌギ	2.2	1.0	2.5cm	1.5m	緑	0
5	クヌギ	2.0	1.0	2.5cm	1.5m	緑	0
6	クヌギ	2.0	1.0	2.5cm	1.5m	緑	0
7	クヌギ	2.0	1.0	2.5cm	1.5m	緑	0
8	クヌギ	2.0	1.0	2.5cm	1.5m	緑	0
9	クヌギ	2.0	1.0	2.5cm	1.5m	緑	0
10	クヌギ	2.0	1.0	2.5cm	1.5m	緑	0
11	クヌギ	2.0	1.0	2.5cm	1.5m	緑	0
12	クヌギ	2.0	1.0	2.5cm	1.5m	緑	0
13	クヌギ	2.0	1.0	2.5cm	1.5m	緑	0
14	クヌギ	2.0	1.0	2.5cm	1.5m	緑	0
15	クヌギ	2.0	1.0	2.5cm	1.5m	緑	0
16	クヌギ	2.0	1.0	2.5cm	1.5m	緑	0
17	クヌギ	2.0	1.0	2.5cm	1.5m	緑	0
18	クヌギ	2.0	1.0	2.5cm	1.5m	緑	0

第7回一「毎木調査実習」講師は中川勝弘氏（五月山グリーンエコー代表）調査の結果を調査票に記入する。



第7回-2「森づくり企画」講師は中川勝弘氏（五月山グリーンエコー代表）
調査表をもとに調査地の断面図と平面図に落とし込み、図をもとにあるべき森について意見交換の上、間伐計画を立てる。



第7回-3「フィールド見学」、第7回-4「森づくり実習」講師は中川勝弘氏（五月山グリーンエコー代表）
昼食には石焼窯で焼いたピザを頂く、講座終了後に講師の中川勝弘氏を囲み集合写真。



第8回-1-2「講義：竹について」「実習：竹切」、妙見里山倶楽部の長岡一夫会長、川村通泰氏、井上登喜夫氏、により行く。毎回の実習時にはKYKを事前に行い災害防止に務めた（下の左の写真）。



竹間伐



第8回ー2里山フィールド見学、高代寺で保護されているツキノワグマ、フデリンドウ・モミジの開花



講座終了後、ご指導いただいた妙見里山倶楽部の皆さんと集合写真



第9回ー1里山フィールド見学、野崎・飯盛の山と緑を保全する会代表 山崎充宣氏 (写真左の方) による案内



フィールド見学中にタケノコ採集、野崎城跡で集合写真。



第9回一2講義「里山保全と生物多様性」を田淵武夫氏（富田林の自然を守る会代表）〈集合写真、前列中央〉。
第9回一3「講座修了後の活動について」里山委員会スタッフより説明し、第9回一4修了式では金谷副会長より受講生の皆さんに修了証または受講証を授与しました。

<受講生の皆様の感想>

- 里山林、木々の種類、樹木に分かったこと、松林が人工林として各地に残っていたこと、多種多様な植物生態系の連鎖の循環は一部の状況では分からないことで木々の種類の生育の活かし方を初めに定めることが大切であるということが学びになりました。雑木林、里山林の中は危険な事柄は入る前に伝えることの重要性。
- 当初参加した時は場違いな期待をもって参加してしまったと思いながら、回を重ねていくうちに少し昔なら生活の一部だったことで循環していたのに、今それを実現するには保全をまずしなくてはいけないこと。その中に沢山の種類やかねあいもあり、大変さを少しだけ一部だけ見せて頂きました。でもやっぱり里山好きです。やっとスタートにたった気がします。
- 思った以上に講師の方々の丁寧な熱い説明を伺うことが出来て、とても貴重な時間を頂けました。また、フィールドワークが多くがそういう時間かと思い（初め講座のプログラムを見る前）でしたが、思った以上少なかったと思いました。
- 座学や実習を通じて、里山の環境、周辺の地域特性、歴史、そして里山活動の現状と課題を多角的な視点から学ぶことが出来ました。当初の目的として、里山講座メンバーと様々な意見交換をしながら今後の里山活動のあり方を考えたいと思っていた。現在はただのインプットが出来た段階でアウトプット（具体的なアイデア出し、アクション）が出来ていないが、まずは保全協会の活動に可能な範囲で関わっていきたい。

- 里山がどのような形で生成発展してきたかを知ることが出来て、とても充実していました。
短時間ではありましたが、毎回目からウロコが落ちることが多かったです。
- 3回も休んでしまい今後ボランティアを行う上で十分な知識と技術を得ることが出来なかったと思います。
今後は実際の活動（現場）で迷惑をかけながら学びつつ何か役立つことが出来るように努力したいと思います。
- 内容がとても充実しており、得難い経験をさせて頂きました。
自分としては当初思っていた以上の成果があったと思っています。
- 野外での実習作業が楽しかったです。
他の受講生の方ともいろいろ話が出来て良かったです。
- 里山の考え方や保全活動の実際についてより理解したくて参加しました。
歴史的背景など新しいことも学べて良かったです。
- 10数年前に他で受講したのでどんな違いがあるのか？安全管理には大変力を入れている。
他の部分については、毎木調査の平面図、断面図の作成は大変参考になりました。
- 講座を受講させて頂き有難うございました。
今回受講したのは、自分なりに思っていた里山を再確認したいと思い参加しました。
講義はいずれも充実した内容でした。特に里山を経済面から見直した佐久間先生の講義は、まったく考えていなかった視点で捉えられており新鮮でした。
実習は都合で森づくりしか参加できませんでしたが、毎木調査とそれに基づいた森づくりは面白かった。
応急手当の実習は、特に救急手当が中心だったので実践的だという印象です。
今回の講座は、実習にあまり参加出来なかったのは残念でしたが、満足しています。
- 里山の成り立ちや、現在の状況、また実技での講習など自分が習得（再確認）したいと考えていた事が網羅されており、満足です。

以上